

165

Supplement
See 3 vols. No. 167 60¢ Nov. 1902.

森羅万象を胸中へ藏め、一毛頭より
乾坤を示し、奇思妙巧より、一休禪、龜谷、
龍谷、最平なり。大悟の漢子、北齋、
歌墨、舞の遊戯、之味を、前へあへ、
數刻、ぬれ、ぬれ、
新趣の、一卷、
新趣の、一卷、
新趣の、一卷、

止^{やま}祿^{ちく}む^{ふう}逐^{しゆ}風^{ふう}捕^{とら}影^{えい}も^も發^{はつ}機^きの^の意^い構^{こう}ふ^なと^と
 出^あ現^{あら}な^るも^も乃^の母^{はは}拈^{ねん}華^け招^{しやう}月^{げつ}々^々直^{ちき}視^しの^の人^{ひと}然^{しか}
 速^はふ^{やう}會^あひ^あひ^あに^に今^{いま}何^{なに}を^を述^のむ^む
 印^{いん}板^{ばん}畫^が片^{ぺん}の^の書^{しよ}肆^し業^{ぎやう}も^も神^{かみ}を^を梓^しみ^みな^なく^く
 傳^{でん}へ^へ常^{じやう}く^く燃^{ねん}燈^{とう}の^の灼^{しやく}る^る尖^{せん}子^しを^を不^ふ言^{ごん}く^く母^{はは}
 觸^{しよく}る^るな^なる^る

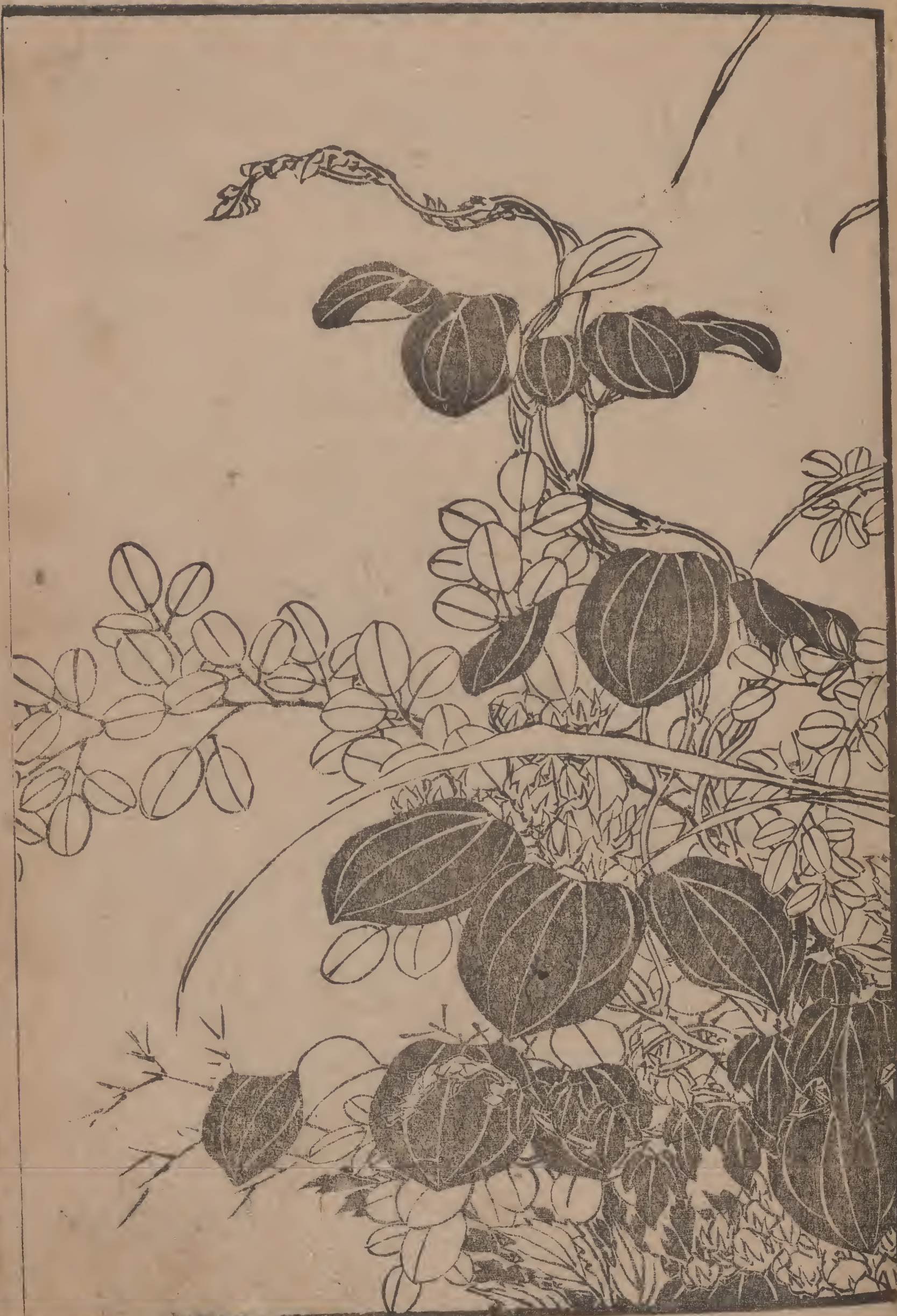
九外史

















山やま晚ゆふ
水みづ暮くれ





れうひに
鉦花
すそさ
夾魚















不動明王
ふどうめいおう

ゆけの
雪
晴る





鐘
燭



